



# サイジヤナル

月刊  
27-9・10  
第423号

日本サイ科学会 平成 27年 9月 1日 発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

<b>東 北</b> 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908-FAX 022 (274) 0097	<b>中 部</b> 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 貴 ☎ FAX 052 (871) 9060	<b>北 陸</b> 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	<b>関 西</b> 〒659-0011 芦屋市六龜莊町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎ FAX 0797 (22) 6425	<b>九 州</b> 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048-FAX 095 (883) 6159
--	---	--	---	---

## 九月本部例会のお知らせ

あなたの人生が楽しくなる  
インド占星術

講師 山田 欽子氏

インド占星術とはサンスクリット語でジヨーティツシユと呼ばれ、光の知識」という意味です。インドの英知、ヴェーダの科学の一つです。

インド占星術の起源は正確にはわかっていませんが、五〇〇〇年前に初めて古代ヴェーダ文献「バラシヤラ・ホーラ・シヤストラ」に記されました。

そもそも占星術とは、「人がこの世に生まれたとき、どこの星座にどの惑星があったか」で占います。この人が生まれた瞬間の天体の配置図を「出生図」といいます。この出生図に込められた意味を読み解くことで、その人の生まれ持った性格、家族、恋愛・結婚、仕事、学び等の特徴、さらに人生における使命などもわかります。

この講演では、そもそもインド占星術とは何か？ 西洋占星術と

の違いは何か？ そしてインド占星術の魅力と特徴についてご紹介をいたします。また有名人のケースタディー等も使い、インド占星術の魅力を余すところなくお伝えしたいと思っております。

※近年インド占星術への関心が高まり、それを学ぶ方や運命鑑定を受ける方も増えております。山田欽子氏は第一線のビジネスマンから、インド占星術の研究者となり、本格的な占星術のセミナーも開催されており、これからの人生の生き方に大いに参考になるお話が聞けると思いますので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加願います。

### ●山田欽子氏のプロフィール

某国立大学経済学部卒業後、大手外資系メーカーに入社。営業・マーケティングの仕事を経験する。2度の転職で、年収は大幅に上がっても、ただ忙しいだけで、心の充実感が全く得られないことに気づく。そんな毎日に嫌気がさし同僚に相談したところ、インド占星術の鑑定を受けることを勧められる。

## 今月号の記事

- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 全国大会開催にあたって
- ☆ 10月全国大会プログラム
- ◎ 関西サイ科学会九月十月予告
- ◎ 北陸サイ科学会九月例会予告
- ◎ 中部サイ科学会九月例会予告
- ◎ 九州サイ科学会九月例会予告
- ◎ 平成26年7月本部例会報告
- ◎ 平成27年7月本部例会報告
- ◎ 第三九七回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三九八回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ 本部分例会講演録の販売
- ◎ サトルエネルギー学会大会告知
- ◎ オーブ(たまゆら)形成過程の動的な観察

鑑定を受け、余りにも当たっていることに驚き、インド占星術をその場で学ぶことを決意。そして今日、講座を開くまでに至る。

日時 平成27年9月12日(土)  
午後1時30分～4時30分  
会場 北とびあ7階第一研修室  
交通 JR京浜東北線王子駅下車  
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

羽寄りの階段を下り改札

口を出て見える高層ビル  
 会員 二〇〇〇円  
 一般 三〇〇〇円  
 学生 一〇〇〇円

◆ ◆

「心を科学する博物館」と  
 一般の御寄付御礼  
 (7/11受領分まで)

金三万円也 森安 政仁 様

◆ ◆

十月日本サイ科学会第25回  
 全国大会シンポジウム

テーマ「あの世と多次元世界」開催にあたって

大会委員長 小林 信正  
 (日本サイ科学会副理事長)

私たちの生活は縦・横・高さの3つの方向性を持つ3次元空間に居住し、これに時間を加えて4次元世界に存在しているとされています。

ます。さらに3次元世界からは目に見えない隣り合わせには、多次元世界(異次元世界)が存在しているともいわれています。

そんなことを公言すると、「うそ」と言われて、奇人変人の類だと目を背けられるかもしれません。でも、これが最新の物理学界でもっとも注目されている新理論だとすれば…?

「確かに異次元の世界は存在する」と提唱するのは、アメリカの理論物理学者、リサ・ランドール博士。現在、彼女はハーバード大学、プリンストン大学、マサチューセッツ工科大学の各教授であり、終身在職権まで獲得している才媛です。特に彼女が得意とする研究分野は超ひも理論の「異次元」。私たちの存在する宇宙空間が、多次元の宇宙と隣接しており、消滅したり、現れたりする素粒子は、別の宇宙空間から行き来しているとするので説明できると言うのです。つまり、近くにあるにもかかわらず、うまくベールに隠されているので、大きくても見ることができないというわけです。

あの世といわれる死後の世界も、

実は私たちとは隣り合わせのベールの中に存在していると考えられています。死後の個性を持った靈魂に関する研究では、例えば臨死体験者の体外離脱体験の証言や退行催眠による前世記憶、それに優れた霊的能力者の霊視、霊聴、霊言や自動書記、霊界交信などの働き、さらに鏡視による故人との再会やオーブの存在も多次元世界からの交流かもしれません。いずれも人の死後、靈魂は肉体から離脱しても個性は存続し、幽界、霊界でも各々多次元に存在して、私たちが生活している現界に何らかの作用を及ぼしているといわれています。

一方、広大な宇宙には多次元世界が存在し、地球人以外の生命体でも、高度な知性と文明を持った宇宙人が存在し、我々の住む地球にもUFOが飛来しているとも言われています。

全国大会では、偶発現象(心霊現象、UFO等)の目撃と原因の推測・解明やサイ現象の仮説など様々な「サイ」に関連することなど、これまでの研究での新しい発見の研究発表がある予定です。

さらに多次元世界の存在について

◆ ◆

てのパネラーによる討論と質疑応答にて、好奇心を掻き立てる多次元の謎解きに少しでも近づけられることが出来ればと願っています。

◆ ◆

関西日本サイ科学会  
 九月研究集会のお知らせ

物質化現象  
 無から有は生じる

講師 スワミ氏

日時 平成27年9月19日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

◆ ◆

# ★日本サイ科学会 第25回全国大会プログラム★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2015年10月11日(日) 10:00～16:50

(会場) 北とびあ7階第2研修室

(交通) JR京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)  
の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

## <プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 小林 信正 大会委員長

### ◎会員の研究発表(6名)(20分発表5分質疑応答/1人)

10:10～10:35 小林 泰樹「PK、ESPの存在証明とその発現条件」

10:35～11:00 ロン 薄葉「オーブ現象と次元波動空間についての考察」

11:00～11:25 志賀 一雅「心霊治療におけるセラピストとクライアントとの脳  
波共鳴」

11:25～11:50 森安 政仁「想念と病気との一考察」

11:50～12:50 昼休み

12:50～13:15 山根 真「新宇宙論・量子論 グラビトン(重力子)を求めて」

13:15～13:40 田中 義久「あの世と多次元世界〈四次元、五次元そして次元は  
一気に十次元〉」

### ◎シンポジウム テーマ「あの世と多次元世界」

13:40～14:40 基調講演 飛沢 誠一「見えない世界の情報を如何に活用するか」

14:40～14:50 休憩

14:50～15:50 大会委員長、パネラー3名の発表(1人15分)

15:50～16:40 シンポジウム パネルディスカッション

大会シンポジウム委員長 小林 信正「愛する故人との再会 ～鏡視実験」

司会進行 阿久津 淳(日本サイ科学会理事)

パネリスト

飛沢 誠一 基調講演

橋本 和哉「気当て診断でチェックした死後の階層について」

飛田 洋子「大宇宙・小宇宙のはざまではがらかに死ぬ方 - 多次元の生  
活化を通して -」

SOUL THERAPIST りんあん「憑依・輪廻転生・靈魂の推察」

16:40～16:45 優秀研究賞 表彰式 浪平 博人 会長

16:45～16:50 閉会のご挨拶 小林 信正 大会委員長

17:30～19:30 懇親会(希望者：当日受付け)

関西日本サイ科学会  
十月研究集会のお知らせ

水と珪素の集団リズム力

講師 中島 敏樹氏

日時 平成27年10月17日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 朝公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



北陸日本サイ科学会  
九月定例会のお知らせ

『水からの伝言』と『新しい  
水の科学』

講師 根本 泰行氏

(IHM総合研究所長)

江本勝会長は「波動」と「水」の

2つの分野における先駆者でした。

いずれの分野においても、「水は

情報を記憶する」ということが、

基本的かつ重要な概念となってい

ます。しかしながら従来科学にお

いては、「水の記憶」について、な

かなか認められず、結果として「波

動」も「水」も「非科学的である」

との批判を受けてきました。

ところが過去6～7年の間に、

世界のトップレベルの科学者たち

から、「水は情報を記憶する」とい

うことを証明する証拠が提示され

てきています。モンタニエ博士に

よつて、「水は遺伝物質DNAの情

報を記憶する」ということが、疑

問の余地のない形で科学的に証明

されてきている一方で、ポラック

博士は「第四の水の相」を発見し、

この「相」を考慮すると「水の構造

が想念や感情のエネルギーによつ

て変化する可能性」が十分にある

と主張しています。

本講演においては、江本会長の

業績について簡単に説明した後に、

モンタニエ博士とポラック博士の

研究内容について、専門外の人に

も分かりやすく紹介し、それらの

間の関連性について議論します。

◎根本泰行氏プロフィール

IHM総合研究所所長、合同会社

オフィス・マサル・エモト代表、

2級電磁波測定士。

1988年に東京大学より細胞

分子生物学の分野で理学博士を

取得。日本、マイアミ、ホノルル

のいくつかの大学で研究を行った

後、2002年に江本勝博士の元

で国際秘書として働き始めた。江

本博士の仕事における科学的な側

面を担当し、水の研究を通じて科

学と霊性を統合することをテーマ

としている。ごく最近、江本博士

の世界的なベストセラー「水からの

伝言」と、ジャック・ベンベニスト

博士、ジェラルド・ポラック博士、

リユック・モンタニエ博士などに

よつて提唱されている「水に関する

新しい科学的理論」との間の関連

性について解説するセミナーを始

めてきている。

日時 平成27年9月6日(日)

午後1時半～4時半

会場 金沢市文化ホール3階

大会議室

(石川県金沢市高岡町15番1号)

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎

お問合せ・お申込み

076・234・6634



中部日本サイ科学会  
九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成27年9月12日(土)

午後1時～5時

会場 博愛療院

名古屋市昭和区御器所3・4・21

052・871・9060

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 一〇〇〇円

※会員以外の方の参加も大歓迎



九州日本サイ科学会  
九月研究集会のお知らせ

参加者の皆様と懇談会

講師 森安 政仁氏

日時 平成27年9月13日(日)  
午後1時～4時  
会場 森安商店  
長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6  
問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分  
長崎バス 洗切小学校前  
下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

◆ ◆  
**第3回スピリチュアル研究  
分科会のお知らせ**

**守護霊との対話**

講師 平池 来耶氏  
(スピリチュアル・セラピスト)

幼少の頃より、神秘や高次元における霊的体験に加え、心理学、哲学、占術、神秘学を研鑽。個人リーディングや瞑想の集いを通じて、魂の向上のセラピーや人生のアドバイスを行っています。著書13冊あり。

内容 会場にいる方の意識を読み取り、ストレスの浄化と今後必要なメッセージを送ります。

日時 平成27年11月1日(日)  
午後1時30分～5時

会場 北とびあ7階七〇一会議室  
交通 JR京浜東北線王子駅下車  
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 一〇〇〇円  
一般 二〇〇〇円

◆ ◆  
**第2回スピリチュアル研究  
分科会報告**

平成27年4月26日(日)  
「北とびあ」にて開催。

○神霊能力者・渡辺薫龍氏「除霊・浄霊について」霊能相談と解決法。  
○心霊医療師・富樫昭夫氏「潜在意識とセルフヒーリング」対処法。  
○獣医師・石川允明氏「最新機器の体感実験、健康状態とサポート」。

会場は五十余名と満席。講演後

は参加者の意見交換等で終了。次回は11月1日(日)を予定しています。

◆ ◆  
**平成26年7月本部例会報告**

**ラップ現象の究明**

ラップ現象との関連性について

講師 小林 信正氏  
(特異能力研究所代表  
日本サイ科学会理事)

今日はラップ現象とそれに伴うオーブのお話をさせていただきませす。日本人は世界で一番引越しの回数が少ない民族で、一生で4回くらいだそうですが、私はこれまで、14回引越してしております。そのうちの数回の引越した土地でミステリー体験をしました。戦後ですが、六回目に引越した多摩川段丘の家では、ラップ現象がバチバチと起こりました。その近くの崖にある洞窟に入りましたら、古墳跡があったので、ラップ現象が起こるのも当然だったと

思います。十一番目に引越した東京郊外の芝生の家では、近所の医者がこの辺は奇病が多いという話を聞き、また女房も私も金縛りに遭いました。そこでその辺りの歴史を調べましたら、戦時中に軍需工場があり、爆撃によって、働いていた女工さん(女子学生等)が多数死んでおり、供養もしていないことが分かりました。

そこで霊能者に診てもらったいい場所だと言われた杉並区の家に移りましたら、副職的に万博等の仕事で余録が入りました。次に移った十三番目の多摩丘陵の家でも、やはり近くに古墳跡があつて、女房やお袋がゴミ捨てに行くといやな気配を感じるということ、現在の家に移りました。この家は三人位の霊能者に診てもらった。今のところ、安住の地としておりますが、また引越したくなるかもしれません。

実は私が生まれた港区芝南佐久間町の隣の家で、60年前位ですが、作曲家の滝廉太郎が生まれております。彼の父親は大蔵、内務官僚を勤めており、滝廉太郎は23歳で亡くなっておりますが、それまで

にドイツ留学も含め、10回位引越しております。

自分の経験からも「いい土地」と「悪い土地」というのは確かにあり、そこに住むといい運氣がもたれる土地と、そこに住むと事故や病気が多い土地もあります。

ラップ現象とは

・英語で叩く(Hit)のような音を行う。

・床・壁などがコツコツ、ドンドン、バンバン、パチパチなど、様々な怪奇音が鳴る。

・ラップ音以外にも木材が乾燥する時の割れにより、「ミシッ」とか、「パーン」といった音が、室内に響くことがある。

・誰も関与しない部屋の空間から、ある種の音が発生し、鳴り響く現象であるが、超常現象、心霊現象の一つとされている。

本当にラップ現象があるのか、またこれらの現象はどういう意味を持つていて何なのか、ということとを調べるため、ビデオで十箇所位取材しました。

ラップ現象の体験

- ・伊豆の温泉旅館
- ・東北の温泉旅館
- ・山陰の温泉旅館
- ・猪苗代の某ホテル
- ・九州の某観光ホテル
- ・ロンドンのマナーハウス
- ・フランスの古城
- ・パリのホテル
- ・イスラエルのホテル
- ・ギリシャの古城ホテル

夏休みに伊豆の温泉旅館へ家族で行ったときに、たまたま空いていた部屋で夜中にラップ音がバチバチ鳴ったので、翌日仲居さんに「この部屋は何かあったんじゃないの？」と聞いたら、「ちよつとお待ち下さい」といわれて、後で、支配人が「詮索しないでください」と言われました。それで調べてみると、最近この部屋で、二人の心中事件があったことが判りました。

東北の温泉旅館では憑依現象を体験し、山陰の温泉旅館では夜中にラップ現象を体験しました。

ロンドンのマナーハウスは幽霊が出ることで有名で、フランスの古城ではロケ中に男性タレントが大げがをしたり、パリのホテルで

は夜中に金縛りやラップ現象が起こりました。後で調べたら、その場所は昔病院だったそうです。ギリシャの古城ホテルでは、昔の牢獄跡だと判りましたが、ラップ現象が起こりました

一九四八年、心霊研究の発端になったハイズビル事件

※古い家の写真を見せる

この家はアメリカのニューヨーク州の寒村ハイズビルにある家であるが、家族がこの家に引越したのですが、ラップ現象や幽霊現象で3ヶ月で出てしまい、その後入った家族も同じ現象で一年半後に出てしまい、一九四七年、三度目に引越してきたのがフォックス姉妹(マーガレットとケイト)と両親です。

やはり、一家はラップ現象、幽霊現象に悩まされたのですが、フォックス姉妹が、そこにいると思われる幽霊と交信を始めました。姉妹が手を叩くと同じ数で応答するので、次に質問に対してイエスなら一回、ノーなら二回ラップ音を鳴らしてくれと頼むと応えるようにラップ音が鳴るようになった

のです。

これによりフォックス姉妹はラップ現象の存在と交流する霊媒師としてマスコミで大々的に報道され、有名になりました。その後ケイトは、英国に招かれ、ウイリアム・クルツクス(ノーベル賞学者)の下で実験が行われました。

一八五一年、バッファロー薬科大学が、「音の正体は、フォックス姉妹が足首や膝の関節を鳴らしていた」と調査結果を発表すると、フォックス姉妹も、種々の事情で自作自演であったことを認め、大波紋を引き起こしました。今のマスコミと同じでワッツと持ち上げて、今度はファーツと冷めてしまいました。ニューヨークでフォックス姉妹はスピリチュアル主義者たちによる罵声で迎えられました。それから約一年半後、マーガレットは暴露の内容の撤回をしましたが。当時の彼女の貧困状態や、二人の上の姉(リーア・ニューヨーク市在住)とのいさかいの中での情緒不安定な環境に乗じて申し入れて来た、前述の反スピリチュアリズム派の者からの金銭がらみの申し入れに応じたことなどを告白しました。また、その後、生涯通

じて二姉妹（マーガレットとケイト）は、この現象について事実であったと主張し続けました。

フォックス姉妹がラップ音の実験を続ける内に、昔この家に住んでいた行商人が、五〇〇ドル盗られて、殺されて地下に埋められたという話が出たきたので、地下室を掘ったら、本当に骨が出てきたのです。ただし骨が少量であったため、事件の裏づけとしては、不十分であり、信憑性が疑われる結果となりました。

ところがそれから60年近く経った一九〇四年、11月22日、ボストン・ジャーナルは、ハイズビルの「幽霊屋敷」の地下室にこっそり入り込んで遊んでいた少年達が、地下室の壁が崩れて人骨らしきものが見えているのを報告した事が皮切りとなり、この壁が二重壁であったことが判明し、その壁の下からほぼ一体分の人骨と、行商人用のブリキ製の箱が発見されたと報じました。これが殺人事件を裏づける結果となり、心霊現象の研究が本格的に始まったのです。という事で、心霊現象研究の発端はラップ現象なのです。

アメリカ、イギリスでも心霊科

学協会が設立され、蒼々たるノーベル賞クラスや有名な学者たちが研究に参加し、日本でも明治43（1910）年頃から東京帝国大学助教授の福来友吉博士が、御船千鶴子の透視実験から研究を始めました。しかし、その後東京帝国大学から追い出されて、高野山大学で教授職を終えられます。



ラップ現象の調査に際して

・ラップ現象は様々な性格がある反面、瞬時に消えて残存しないために、科学的見地からの客観的・合理的検証が行い難い現象である。

・ラップ現象を究明するには、その音を録音と映像も同時に残す方法が必要である。

・撮影後の音声のミックス作為もありうるという反論も考慮して、併せて、第三者複数による現場での立ち会いも必要である。

・木造の建材や建築工法の欠陥説、近くの工場からの身体では感知不可能な低周波振動や共鳴現象説も考えられる。

・また、ポルターガイスト現象などの条件も考えて、物理、心理、心霊などの見地からも調査を行う。

・TV局の報道番組として制作。実態の究明を行う。

取材にあたって

○怪音に悩む住人からの情報  
○放送する条件で取材及び観測  
○目的は怪音の解明と解決  
・ビデオ撮影及び特殊音響観測機器を準備

・建築家、音響、映像の専門家の立ち会い調査  
・建材の音響テスト  
・住人の心理テスト

準備した観測機器

(A) 撮影機器  
・高感度近赤外線カメラ（700

900ナノメートル）&赤外線ライト  
・近赤外線ビデオカメラ定点観測用（Nightshot）  
(B) 物理系機器  
・磁場測定器（ホール素子方式、高周波）  
・可聴音レベル計&低周波音レベル計  
・集音マイク  
・ノイズビジョン（音源を識別する機器）  
・サーモトレーサー（温度、湿度測定器）

事例の検証

・事例① 埼玉県で廃業に追い込まれたレストラン  
状況・ラップ音とオーブが同調している

・事例② 東京近郊・築3年の一戸建て住宅  
状況・数百回の怪音と「誰か布団の上を歩く気配」

・事例③ 首都圏の新築マンション、恐怖におびえる住人  
状況・専門家による建築構造調査とオーブとの関連性

・事例④ 首都圏の築23年、一戸

建て住宅

状況…観察↓仏壇、遺影付近で  
ラップ音&オーブ

※最新機器「ノイズビジョン」  
で音源調査

※以下の場所取材、TV放映さ  
れたビデオが紹介される。

- ①埼玉の廃業レストラン
- ②東京近郊の一戸建て新築住宅
- ③神奈川県の新築マンション
- ④都内の築23年、一戸建て住宅
- ⑤岐阜の町営新築団地

(それぞれ近赤外線ビデオカメラ  
や多数のマイク、測定器を設置し  
て、長時間撮影し、それぞれオー  
ブやラップ現象が記録されていま  
す。)

前記ビデオ映像の事例の検証

・事例① 廃業レストラン  
観察…ラップ音とオーブ出現が

同調

因果…自殺者、戦災死者跡  
・事例② 東京近郊の一戸建て新  
築住宅

観察…ラップ音が5H/約二百

回以上

因果…隣接の墓地で霊姿を目撃  
・事例③ 神奈川県の新築マンシ  
ョン

観察…ラップ音とオーブとの関  
連性あり、怪奇現象

因果…爆撃で多数の焼死者

・事例④ 都内の築23年、一戸建  
て住宅

観察…仏壇、遺影付近でラップ

音&オーブ

因果…自殺した母親との因果関  
係

実態の観察

・ラップ音は築年数に関係なく発  
生する。

・概ね建築構造上にもやや問題が  
ある。

・ラップ音には様々な音がある。

・特に夜間に頻発する。

・誰かが居るような人の気配がす  
る。

・ラップ音の原因とオーブとは関  
連があると思われる。

・ラップ音が頻発する場所は、霊  
的な因果関係がある。

(自殺現場、墓地、戦災死者地、  
仏壇、遺品、幽霊目撃等々)

・ラップ音は、何かを訴えている  
ように思える。

ラップ現象の考察

・ラップ音はオーブ出現と関連性  
があり、従ってラップ音の発生

は、オーブのもつサイ・エネルギー  
ギーが電磁場に作用して、空気

を振動させ、周辺の物質が共鳴  
して起こる現象と思われる。

・波動とは、電波のように空間的  
に連続的に広がっていくもので、

そこに高低差が生じる。オーブ  
という物質は粒子であり、同時

波動(光)であり、いわば量子  
レベルの現象と考える。

・いわば「ラップ現象は未浄化の  
オーブが、霊的意識エネルギー

によって、あの世から紙一重の  
この世の人に何らかの意図を持

って訴えようとしている心霊現  
象」と考えられる。

・その根拠として、ラップ現象  
が鎮魂供養により沈静化したの

は事実である。(ニセ折袴師には  
要注意！)

シヤルル・リシエの言葉  
(フランスの生理学者。1913

年ノーベル生理学・医学賞受賞)  
「ラップ音の真实性は、心霊現象

全体に関わる根本的な重要性を有

する。物体が物理的作因なしに振  
動させられ、しかもその現象の背  
後に明らかな知性の存在が認めら  
れるとなれば、この宇宙には、物  
質に直接働きかけうる目に見えな  
い知的存在が我々と共にあるだろ  
うという、真に遠大な意味を持つ  
事実が明らかにされることになる  
のである。」

(「新・心霊科学事典」より)

住居によい地、悪い地

○よいエネルギーが放出

○生命力が旺盛となる

○家庭が明るくなる

×悪いエネルギーが停滞

×生命力が減退する

×病気になるがち

檜崎皐月氏(故人)の功績

(明治32年～昭和49年)

大地には微弱電流が流れていて、

磁場が発生する。この微弱な大地

電流が人を含む健康体にどのよう

な影響をもたらすか実測数を統計

的に調査する。

・イヤシロチ(弥盛地)

快適で居心地よく癒され、家庭

は明るく、植物も生育する地。

・ケガレチ(気枯地)  
病人や事故が次々起こり、家庭は暗く、気分が憂鬱な地。

住宅に不向きな土地

・穢れた土地・未浄化な地縛霊、浮遊霊の目撃された場所、及び神仏の祭祀跡地など

古墳跡、古戦場跡、処刑場跡、墓地跡、供養塚、祭祀跡、自殺・他殺・心中事件現場、戦災死者地、崖下、湿地や沼地、谷底地、井戸の埋め立て地。

パワースポットとしてお奨め所

箱根神社、戸隠の参道、御嶽神社、石上神宮、高千穂神社、室生寺、等々(著書「ご利益さま」参照)

### 平成27年7月本部例会報告

見えない世界の情報を如何に活用するか?

講師 飛沢 誠一氏

多くの人は過去世(過去に生まれて経験した過去の人生)の影響を知らず知らずに受けている事が今までの気功リーディングと気功施術からかなり明らかになって来ました。その数多くの例から一部を報告すると、例えば首の痛い人は過去世の戦争で首を切られ死んでいた事がありました。また病院が怖い人は過去世に病院で看護婦をしていた事があり、第一次世界大戦での壮絶な惨劇を見ていたことによる多大な心のトラウマがあった様です。



この様な場合、この過去世の記憶、カルマを消去する事で、先ほどの首の痛みや病院が怖い気持ちなどほぼ改善出来る事が分かり、同様に数多くの人の不定愁訴や精

神的な問題を軽減化させる事が出来ています。つまり私たちの身体の健康から精神的な問題は過去世からの影響を強く受けており、その情報を消去・変更する事でかなり改善する事が出来る事が分かっています。これら肉体起因

ではない体の不調が起こる結果も踏まえ、病気の原因については、

1. 肉体起因
2. 精神起因
3. 幽体起因

の3つに分類される事が分かりました。多くの人はこの3番目の幽体起因の病気について適切に対応して無い場合が多く、どこか病院に行っても原因が分からず途方に暮れてしまう事を経験する場合があります。

この幽体起因の病気には前述の過去世の記憶・カルマの他に霊体の憑依や生き霊(生きている人の強い思い)の憑依の様な事例もあります。この様な幽体起因の病気の場合も今までの経験から高次元レイキによる施術が大変効果を有している事が確認出来ました。この高次元レイキ気功では直接施術の他に、実際会わずとも遠隔にて施術する事が可能です。一度も会

っていないなくても、その人を良く知る人、その人の写真などが遠隔施術者の傍にあれば遠隔にて施術も可能である事も実際の施術結果から確認されています。

遠隔施術の原理についても、これは人間のアストラル体の様な肉体以外のエネルギー体である幽体が存在し尚且つそのエネルギー体のある高次元部分では皆互いに共有していると云う仮説が正しい事を示唆していると考えられます。

それと幽体も含め、その幽体部分の過去の経験や、未来に起こる事象も含めたデータベースのような物も存在する事が分かりました。

肉体部分以外の幽体ではより多くの情報を有し、過去・現在・未来が同時に存在するデータをも含んでいます。この情報データベースに普通の人間が高次元レイキのトレーニングを受ける事により、比較的短時間にアクセス可能であることも講座の受講生の事例から確認出来ました。従って我々の未来についてもこのデータベースを積極的に書き換えることにより、自分と他人の未来が変更可能なのです。

このデータベースは今まで一部の人が言われていたアカシックレコードとほぼ同一であると思われる。このアカシックレコードは確かに存在し、本当に現在・過去・未来のデータが格納されており、そのリーディング・ライティングにより現在・過去・未来を観て、変更する事が出来るのです。これにより未来は決まっているのか？ 変更可能なのか？ 一つの命題にも解答が可能となりました。未来はある程度の制約はありますが、幾らでも変更可能なのです。

これらの事象からアカシックレコードの存在とこの世の活動の關係もある程度分かって来ました。つまり普通目には見えないアカシックレコードを活用する事や他人の幽体の高次元部分であるアストラル体の遠隔施術などを行う事で、我々は自分のみならず家族、友人、知人など他の人の人生もより健康に、より幸福に、より活性化する事が出来るわけです。

当然ながらアカシックレコードで未来をリーディングする事でこれから売れる商品やサービスなども調べる事が可能となる訳です。つまりアカシックレコードに沿っ

た技術開発や商品・サービスの提供が今後のビジネスでの鍵となることは容易に類推する事が出来ます。その開発を積極的に実施すればビジネスでの成功も容易な事となるでしょう。この様に目に見えない世界の情報を活用するにはまずアカシックレコードと繋がる事が肝要である訳です。

さてこのアカシックレコードと繋がる方法ですが、以前から色々な方法が試行されて来ています。その中の多くはとても厳しい修行と時間がかかる方法ばかりでした。そこで2年程前に誰でもこのアカシックレコードと上手く繋がる方法として飛沢式呼吸法を開発しました(詳細は「これからのビジネスエリートは見えない力を味方にする」飛沢誠一著東洋経済新報社を参照されたい)。今ちょうど世の中への普及を開始したところです。

この方法は身体の中を特別な呼吸法と共に気のエネルギーを循環させる事です。身体の中の気を呼吸と共に強制的に循環される事により身体と心の波動を上げる事で身体の次元が3次元から6次元に上昇し、結果としてアカシックレ

コードにアクセス出来ます。更に安定化してくるとアカシックレコードの書き換えも可能となります。これからの時代は変化が激しく、大きな混乱が起こります。しかしこの方法を活用することで、多くの人が宇宙の意志(アカシックレコード)と積極的に繋がる事が出来ます。うまく宇宙の意志と繋がる事でその変化に対して自信を持って力強く対応して行けるようになります。その結果多くの繋がった人の積極的で能動的な行動がよりのよい社会を創っていくことになるでしょう。これからも多くの人にこの方法を広め普及する事に注力してまいります。

### 第三九七回関西日本サイ 科学会研究集会報告

妖怪って何？ 妖怪講座一日  
入門 有名妖怪スポットを巡  
って

講師 亀井 澄夫氏

とき 平成27年4月18日  
ところ 大阪科学技術センター

亀井氏は日本妖怪研究所所長。有限会社レベル代表取締役。編集者、音楽家、映画監督など、多岐にわたる創作活動を展開。「妖怪講座」や「ゴブリンマーケット」、コンサート、マラソン大会などのイベントの開催や、『妖怪新聞』『妖精美術館』『Fairy Book 妖精図鑑』など妖怪・妖精関係の書籍や、19世紀の妖精絵本の日本語版『誰でもない王女さま』『巨人退治のジャック』『ゴブリンマーケット』などの発行が好評を得ている。各文化センターにて妖怪講座の講師をつとめ、大阪日日新聞での「大阪ロマン紀行」も160回を超えて好評連載中。天満天神繁昌亭など、寄席にて怪談や化物噺の解説、「COMIXチャンネル」おちやのこ「satsuki」の準レギュラーとして大阪の不思議を語る。

#### 概要

妖怪ってなんだろう。時代とともに変わってきた妖怪のイメージを、全国の妖怪スポットを巡りながら解説。画像を見ながらの楽し

い講座でした。

主な内容

1. 妖怪とは何か  
神・人・物・超自然的の四つの視点から考察。
2. 大妖怪の時代  
鶴 玉藻の前 紅葉 酒吞童子 など。
3. キャラクターの時代（ゆるキ ヲラへの系譜）  
鶴の赤ちゃん 鬼姫 見越し入道など、江戸時代の草双紙の妖怪たち。
4. 妖怪スポット巡りの楽しさ  
茂林寺 大中寺 太宗寺 京都など各地あれこれ。

ポイント

- ・江戸時代は妖怪と書いて「ばけもの」と読んだ。
- ・学問の対象にならなかつたものを、学者らしい研究対象のような言葉として「化け物」から「妖怪」という言葉を採用。
- ・水木しげる氏により、改めて一般に妖怪が定着した。
- ・妖怪とは何か（四つの視点から考察）

1. 零落した神々

ひとつのケースとして、その地域で後発の神々が栄えて、もとの神が落ちぶれる場合を紹介。  
河童は、水の神が落ちぶれたとも言える。

一例として、隠岐の島の古典相撲などを紹介。相撲は神の判定を求める神事であった。隠岐の島は相撲の発祥の島と言われている。昔は神社に土俵があるところが多かった。

河童は相撲をとる。元は神であるので、人間には負けられない。



2. 人を妖怪と見る

山精（塩が好きとされている）  
その理由  
河童は冬になると山に入って山精となる。  
つまり、夏に河川工事をする人

が、冬に山に入って鉾山などで働くこと。

稀人との接触時に妖怪と思う（異文化の接触）。

3. 動物を妖怪と思う

猫が年を経て尻尾が2本になる。  
有馬、佐賀などの化け猫話は有名。  
動物の習性や人間に似たところなどから妖怪を創造。

4. 物を妖怪と見る

九十九神絵巻を紹介。  
うち捨てられた古道具が化ける。  
その内には物をもつたいないと思ふ気持ちがある。

十返舎一九の家財道具の化け物などを紹介。

5. 超自然的なもの

それでも妖怪の存在を信じる人々がいる。「確かに見た」という類のもの。実話怪談。

妖怪のキャラクター化は江戸時代から

・ヌエが都島でマスコットになっている。

・京都にはヌエ退治の碑がある。

・玉藻前（九尾の狐）と鳥羽上皇

の話を紹介。

安部泰成（陰陽師）が正体を暴き、狐は奈須に逃げ帰る。

殺生石や奈須温泉神社などを紹介。

上方では講談が廃れている（講談は怪談物が得意なのに）

理由

・戦後、GHQによって仇討ちなど、戦記物の講談が禁じられた  
・先代の旭堂南陵は怖いのが苦手だった。

・四谷怪談を上演中に、高座で講談師が心臓麻痺で急死したことにより、上方では四谷怪談は止めネタとなった（東京では盛んに上演）。

☆

☆

妖怪は時代、土地によって変わるらしい。これは人の深層意識を反映しているということであろうか。

当日の参加者は会員11名、非会員4名、合計15名であった。講演記録テープは20000円（送料込み）。事務局（0797・22・6425）まで。

（関西日本サイ科学会会長

河野明夫）

河童についての思い出

私（河野）の故郷宮崎では河童のことをガラッポと言った。夏の終わり頃に川で泳いでいるとガラッポが相撲をとりに来るとおどされたものである。そのときの心得としては、ガラッポは頭の皿に水が入っていれば力が強いが、水がなければ赤子と同じで力がでない。まずは深くお辞儀をせよ、そうすればガラッポもお辞儀をするから頭の皿の水がこぼれるので負けることはない、と教えられたものです。



### 第三九八回関西日本サイ 科学会研究集会報告

チャクラに響くコトタマパワー  
体感セミナー

講師 宮崎 貞行氏

とき 平成27年5月16日  
ところ 大阪科学技術センター

宮崎貞行氏プロフィール

昭和20年生まれ。東京大学卒業後、官庁に奉職、その後大学教授（行政学）を経て、現在は、日本人の魂を振り起す作法と神学を探究している。近著に『宇宙の大道を歩む』、『天皇の国師』、『寄りそう皇后美智子さま』、『アワ歌で元気になる』など。

#### 概要

「初めに、背筋を整える体操を行い、膀胱経の気の流れをよくする。次にアワ（天地）呼吸法と天の鳥船を行い、全身を活性化する。体が整った段階で、ウオアエイのコトタマを発し、チャクラのどこに響くのか体験してみる。そのほか、ひふみ歌、トホカミ歌など皇室に伝わるコトタマの威力を実地に体験してみる。

最後に、アワ歌を練習し、全身の細胞を震わせる。アワ歌は、身体だけでなく、地球と宇宙を整える波動ともいわれているが、裏の世界に響かせるイメージを持つて歌う。」

すべては響き、すべては波動

真言密教の空海は地、水、火、風、空の「五大はみな響きなり」といつている（声字実相義）。真言密教は、マントラ（真言）の響きを通じて、感性和靈性を高めようとする点に特色がある。

たとえば、般若心経のマントラ。「ガートイ、ガートイ」Gate gate paragate parasangate bodhy svaha (ナ)で全員唱和する)

心経(heart sutra)のマントラにはア行の音が多い。これはハートのチャクラに響く音であり、したがってハートストラと呼ばれた。

幕末の国学者、山口志道も、宇宙は聞こえない音で満たされており、その宇宙の音の一部が肉體器官を通じて発露したのが、音声であると考えていた。したがって、彼によれば、その音声を宇宙に共鳴するように発声すると、雲を呼び雨を降らせ、台風の進路も変えることができる」と主張した。それを実施した超能力者たちも、多数いる。

西洋が論理の文化であるとするれば、日本は響きの文化である。フランスの文化人類学者レヴ

イ・ストロースは、「日本の文化は調べ（トーン）の文化である。」と書いている。日本は調べの文化——和歌、俳句、謡曲、詩吟などを発展させてきた。

声の出し方、イメージの使い方

イ、エ、ア、オ、ウは、それぞれ体のある部分を響かせるように発声する。

イ 上顎に響くように、脳下垂体と松果体に響くように

エ 下顎を前に突き出し、耳の奥を響かせるように

ア 喉の奥を開き、前に吹き付けるように

オ ミゾオチと食道が震えるように

ウ 下顎に響くように、そして唇を震わせる

イ、エ、ア、オ、ウは、チャクラの6から2に対応しているのので、これを意識し、チャクラに集中しながら響かせるとよい。

7 サハスララー 松果体

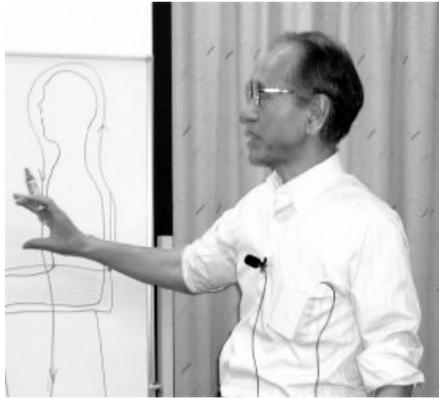
6 アジナ 脳下垂体  
5 ヴイシユダ 甲状腺

- |   |          |      |
|---|----------|------|
| 4 | アナハタ     | 循環系  |
| 3 | マニプラ     | 消化系  |
| 2 | スワディスターナ | 泌尿器系 |
| 1 | ムラダーナ    | 生殖系  |

チャクラは体の表側(花)と裏側(根)両方にある。その表と裏を意識しながら、ウ、オ、ア、エ、イで背中を昇り、イ、エ、ア、オ、ウで前面を降る。これは小周天のひとつである。これにより暖かいモヤのようなものの移動を感じる。モヤのかたまりを体の後ろと前を自在に動かすように、練習するとよい。

気といわれるものに四つある。身気、心気、靈氣そして先天氣(宇宙の氣)。身気は、意識しなくても体の経絡を流れているもの、心気は、意識によって早くも遅くもできるもの、靈氣は、さらに精妙なもの、先天氣は、それらを生み出す大本の根本的な宇宙氣である。身気と心気は、体の中だけでなく、体の外側にもながれており、練習によってその体外の流れを強化することができ、靈氣と先天氣は、次元の高い場にある。

それらの氣は、トーラスの形で、体の周りを流れている。トーラスというのは、たとえて言えば、穴の極めて細いドーナツのような形をしている。そのドーナツの周りを、右回り、左回りで猛スピードで裏から表へ、表から裏へと回転している。それが、あらゆるものの波動の流れであり、素粒子から地球まで、同じようにトーラスの動きをしている。



トーラスをイメージしながら、前後左右、あるいは縦に8の字状に体をゆらすことで氣の流れのパランスを回復することができ、(石上の作法、天の鳥船体操などを試みる)

タマフリにより、元氣を回復する

タマとはエネルギー体のことである。古神道では、四つのタマがあるとされている。

- |      |               |
|------|---------------|
| アラタマ | 肉体(荒い波動)      |
| ニギタマ | 心体(微細な波動)     |
| クシタマ | 遠方へ飛び、透視する波動体 |
| サチタマ | 包み込む愛の波動体     |

「タマフリ」というのは、これらのタマを、振動させ、増殖させること、それにより、人を元氣づけたり、いやしたりすることができ

る。日本語の「ふる」には、五つの重要な意味がある。

1. 振る
2. 降る
3. 触れる
4. 震う
5. 殖える

この中で、最も重要なのは、増殖するという作用である。タマのエネルギー体を増やし、増殖し、発展させていくことが人の務めである。周りの人々、草木、山川、海空、地球などのタマをフル、増殖させ

るようにしなければならない。

アトランティスの時代、「オーアーウーム」などのコトタマで、病人を治療していたとエドガー・ケイシーは伝えている。大災害の後生き残ったアトランティス人がエジプトに着き、そこでピラミッドを作りアトランティスの叡智を残した。エジプトのピラミッドのなかでも、神官たちはコトタマで、王たる人の靈性を向上させたり、病氣の治療に当たったりした。

数と形も波動体である

また、言葉だけでなく、形、数、想念もエネルギーをもった波動体である。

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| カタタマ  | 三角、四角、丸、それらの組み合わせの形から出るもの |
| カズタマ  | 1から9までに集約される数             |
| オモイタマ | 想念、愛、憎しみなどは、自分を離れて飛んでいく   |

形もまた、微細なエネルギーを出している。

三角と四角の組み合わせによる12面体、五角形と六角形の組み合わせによる36面体などがある。この36面体をペットボトルの水のそばに置くと、ボトルに細かい泡が生じ、次第に集まって大きい泡をつくる。ある形そのものが、水の分子構造に影響を与えていることが分かる。

古神道では、火は上向き、水は下向きの三角形で表徴される。二つの三角の組み合わせからなる六芒星は、火と水の作用を統合することを意味しており、これは、エジプトの神殿に記録されている。後世にユダヤ人は、これを国の紋章としたが、我が国の六芒星のほうがるかに古いのである。ユダヤから来たものではない。

潜象界は、三の原理で動き、現象界は、陰陽の二の原理で動いている。

三の原理とは、一者から昇る力と沈む力が生まれ、三位一体となって活動していることを言う。ホツマツタエでは、ウという中心から、左巻き、右巻き、遠心(力)と右巻きの渦ワ(下降力、求心

力)が生まれ、ウアワの三者が現宇宙を形成したという宇宙観を示している。これが、のちに古事記において、アマノミナカヌシ、タカミムスビ、カムイムスビという神格化された形で表現されたが、内容は同じである。

空海もこの原理が分かっている、曼荼羅の金剛界マンダラは三の原理で描かれている。金剛界は、九の部屋に、九の仏が描かれ、胎藏界は、大日の周りに八の仏が安置されている。三と二の原理は、互いに共鳴しながら、交流しあっているという宇宙観がマンダラに含まれている。

ヒフミは、音によるカバラ

空海は伊勢神宮でヒフミの原典を見つけたが、それによると、ヒフミは、まるい玉の二個、三個、四個、五個、六個などの組み合わせで表現されている。すなわち、三角、四角、五角、六角などの組み合わせが本来のヒフミの意味なのであった。(鏡、剣、玉に比定されたのは、律令時代に入ってからである)

それらの形を組み合わせると、みごとにカバラの「生命の樹」となる。カバラは、十六世紀にエジプトの古文書から発見されたもので、それをユダヤ人たちは、ユダヤ教の中に取り入れたが、もとはエジプトの思想である(モーゼは、アークをピラミッドから盗み、エジプトの一神教をユダヤ人の守護神にすり替えたが、ユダヤ教そのものは極めて新しい宗教である)。

『生命の木』は、みごとに、ヒフミヨイムナヤコトと対応している。その意味は、宇宙の中心(ヒ)から、上昇力(フ)と下降力(ミ)が生じ、三位一体となって現宇宙を創り、そのあと陰陽の組み合わせ(ヨイムナ)によって万物が生じた。生まれた万物は、その役目を終えた後、高次の意識体(ヤコト)となって昇りいき、再びもとの宇宙の中心(ヒ)に還るといふ永遠の循環をうたったものである。これは、まさに古代エジプトに発祥するグノーシスの思想でもある。古神道と古代エジプトは、密接な交流があったものと推測される。

したがって、ヒフミをうたうときは、永遠の循環をイメージしながら、繰り返し繰り返し歌うのがよい。できれば、両手で三角と四角を形作り、ピラミッドの中にあることを想いつつ、そのカタダマのエネルギを浴びながら、ヒフミを豊かに響かせたい。そうすれば、痛みは消え、死者も元氣よく、霊界で活動を始めるはずである。そのほか、天(ア)と地(ワ)を結ぶアワの歌、各次元の場をととのえるトホカミエヒタメのコトタマも、重要である。皆が、自分の感性にあったコトタマを探し、日々唱え、周りの環境と自分をととのえていくことが大事と思う。

(宮崎貞行)

☆ ☆

当日の参加者は会員11名、非会員26名、合計37名であった。講演記録テープは2000円(送料込み)。事務局(0797・22・6425)まで。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。  
価格 1本につき 三五〇〇円  
(送料含む)

以下のビデオ映像から、御注文願います。

- ◎2013年4月本部例会  
講師 大野百合子氏  
「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」
- ◎2013年5月本部例会  
講師 浪平博人氏  
「イメージによる瞬間教育」
- ◎2013年6月本部例会  
講師 松原秀樹氏  
「アレルギーを治す秘訣」
- ◎2013年7月本部例会  
講師 酒向猛氏  
「千鳥学説を知るために」

- ◎2013年9月本部例会  
講師 奥野節子氏  
「ブラジルの奇跡のヒーロージョン・オブ・ゴッド」
- ◎2013年10月第23回全国大会  
シンポジウムテーマ  
「サイと自然治癒力」
- ◎2013年11月本部例会  
講師 小久保秀之氏  
「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」
- ◎2014年1月本部例会  
講師 小川博章氏  
「魂の発見」

- ◎2014年4月本部例会  
講師 西川真知子氏  
「生命の智慧 アーユルヴェエダ―アーユルヴェエダから見る生命のすばらしさ―」
- ◎2014年5月本部例会  
講師 岩根和郎氏  
「般若心経とサイ科学」
- ◎2014年6月本部例会  
講師 秦西平氏  
「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- ◎2014年7月本部例会  
講師 小林信正氏  
「ラップ現象の究明―オーブとの関連性について―」

- ◎2014年9月本部例会  
講師 石川允朗氏  
「死後の世界と輪廻転生についての一考察」
- ◎2014年10月第24回全国大会  
シンポジウムテーマ  
「サイと天変地異」
- ◎2014年11月本部例会  
講師 坂井洋一氏  
「日本人は知らない―縄文日本の驚くべき真実」
- ◎2015年1月本部例会  
講師 英国からの特別ゲスト  
THE SOURCE CODES  
ソース・コードは何ですか?」
- ◎2015年4月本部例会  
講師 根本泰行氏  
「水からの伝言」と「新しい水の科学」
- ◎2015年5月本部例会  
講師 水華氏  
「君を見放したりはしない―宇宙神技点描画家―水華の世界(ヒカルランド)」
- 講師 上部一馬氏  
「巨大地震を1週間前につかめ」
- ◎2015年6月本部例会  
講師 末武信宏氏  
「先端アンチエイジング医療&超人を生む自律神経の開発」

- ◎2015年7月本部例会  
講師 飛沢誠一氏  
「見えない世界の情報を如何に活用するか?」

※御注文はメールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「2010年〇月〇〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psi.mail-box.ne.jp  
FAX 047・330・4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みただければ、結構です。



## 《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウィンドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウィンドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文はメールまたはFAXで、下記のメールアドレス(またはFAX番号)に、「201〇年〇月〇〇〇〇氏講演録音購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。2週間以内に発送致します。

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp FAX 047-330-4091

- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年問題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松 瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出 治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」  
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術『強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～』
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何ができるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」
- 2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の存在と能力」
- 2013/ 1/12 志賀一雅氏「 $\alpha$ 波のコヒーレンシーについて」
- 2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」

#### 4. 検討ならびに考察

オーブ(たまゆら)の形成要因をみる。地球を包み込んでいる大気は、上空では、宇宙線などの放射をうけて電離している。これが大気電界と帯電したエアゾール等の作用により、陰、陽イオン・ボール(プラズマ・ボール)になる。これらの内、電子、陽電子、プラナ(バイオ・ホトン、微細身素粒子)群を内包し、これを基盤とするイオン・ボールがオーブを造り、オーブと撮影者のサイ(気)が同調(共振、共鳴)したオーブが「たまゆら」であり、これが、研究対象になると判断している。なお、都合により素粒子で説明しているが、実際は光群であり、観測するまでは、素粒子群(オーブ)の形や姿は未定である。

一般には、オーブ(たまゆら)の形は円形(球体)であるが、特別なものとして、本稿に示した菱形オーブがある。この形は、本稿以外ではWebサイト等で2~3見受けられるのみである。この菱形オーブは、時間と場所をきめた時にも出現しており、再現性があると言えよう。また、意識によって、ある程度は、制御されている、と判断している。外国では、一般には、可視光で見えるのはUFOであると称しているが、本稿では、オーブ(たまゆら)が可視光(色彩像)で撮れている。

オーブは、霊界に属しているという主張がある。本稿のオーブには再現性が表れているので、この研究の意義と目的として、オーブを介して霊界と情報交換が出来る可能性がある、と言えよ

う。例えば、自分を護る守護霊に連絡して、何の為に生きているのか? 生きる目的や、より良く生きる方法、を教えて貰う。または、ピンチの時に助けて貰う。これらが実現する事が出来れば、どんなにか素晴らしいことか。本稿のSDK師の様な能力者は、普通人の我々よりも僅かにある部分の能力が高い、と考えることが出来る。普通人でも修行や努力によっては、特種能力が身につけられる、と考えている。

サイ(気)科学が進歩して、能力開発が進み、特異機能が身につくについて、霊界と連絡が取れる。例えば、ケイタイ電話で相手呼び出すように、私の意念によって私の守護霊を呼び出して、情報交換することが出来る可能性がある。例えば、条件設定をする。自分の守護の霊を見つける。意念で連絡して、お願いして、助けて貰う。

なお、外国では(米国、西海岸カルフォルニア州、Mt.Adams等)、いっばんに、赤外線カメラを用いて撮影した白黒模様のオーブ動画がWebサイトなどに出ている。日本では、本稿で述べたように、デジカメやハンディ・カメラを用いて、可視光でオーブ動画が撮影されている。つまりオーブ動画の色付像が得られている。なお、ごく最近になると、Webサイト等によれば、米国ECETI等では、大型の液晶モニターとレーザー光を用いて、オーブを呼び出し、ビデオカメラで、可視光状のオーブを写し出している例がある、との事。

◎ サトルエネルギー学会  
20周年記念大会のお知らせ  
(日本サイ科学会協賛)

大会テーマ

「見えない意識」と「見える現象」との橋渡し」

21世紀の歩き方・心と躰・意識の次元上昇

日時 平成27年10月17日(土)

開場 9時45分 開演10時15分

閉演 18時

会場 大崎ブライトコアホール

交通 JR大崎駅より徒歩5分

料金 前売りチケット

サイ科学会会員 六千円

一般予約 七千円

※内容等詳細はサトルエネルギー学会の公式サイトをご覧ください。

※申込みお問合せは

サトルエネルギー学会相模原分室

電話 042-748-8240

E-mail office@subtle-eng.com

URL <http://www.subtle-eng.com/>



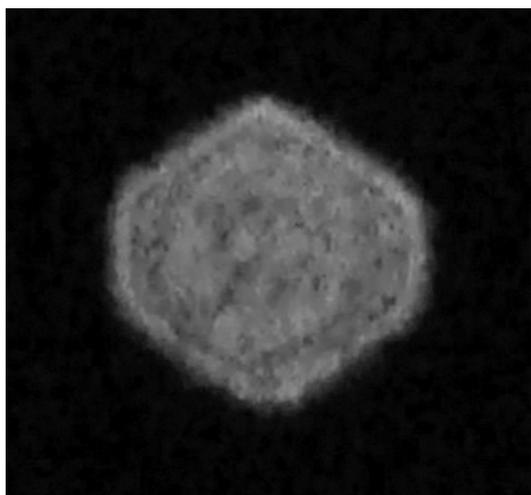


写真6 (orb9)

やって来ると判断できた。そこで、望遠ズーム写真の写真倍率（液晶モニター上）を変えて撮影する事により、オーブの成長過程動画を記録する事にする。場所は上記と同じ静岡県磐田市内。上記の翌日の2014年11月24日（月）夜、晴れ、動画として記録された時間は31分11秒である。まず、はじめにデジカメの液晶モニター上で、遠くにある星（又はオーブ、白点）を探し出す。すると、希望する芽（初期）オーブが飛び込んでくる。

液晶モニター上の倍率を変えると、菱形オーブの内部の模様が多少変化する場合もある。つぎに連続的に撮影された動画をとめて、拡大して得られるオーブ静止画像を見る。倍率を小にしたときの「切り取り像写真」の写真5（省略）には、極小球状の白色発光体（芽オーブ）。倍率を中位にした写真6 (orb9) には、ほぼ菱形で内部に模様（表情）のあるオーブ。倍率をより大にした写真7（省略）には、表情のあるより大きな菱形オーブが写されている。これらから、同一場所で、同一人により、菱形オーブ像の成長過程が写されていることがわかる。これは、菱形オーブの再現性が起きている事を意味するのであろう。

### 2-3) オーブ動画の意識面

撮影者のSDK師はデジカメを両手に持ち、変性意識に近い状態（ASC）で、液晶モニター上に現出したオーブに語りかけながら撮影している。——オーブの名称（愛称）はシリウスちゃん、木星ちゃん、金星ちゃん、月、星、等である。呼び掛けに応じてそれぞれに対応したオーブが出現してくる（別報で報告）。——金星ちゃんがシューッと入ってきた、——向こう側からキテくれる、——。キラ、キラ輝いている。——アッ、逃げた、逃げないで、この人、行かないで。必ずミドリちゃんがいる。——アーきれい、——スゴイ——くるくる回転している、——何、これ、赤だ、——よし、ぱちり（動画を切り取って静止画にする）、何、これ、——分離した、——どンドン動く、——私を呼んでくれて有難う。——。

以上などから、写している人の意識（ASC）が動画（特定オーブ）を呼び込んでいる様にみえる。またポジティブな遊び感覚で、興味を持って写している様子である。

### 2-4) オーブ動画の特徴

(1) オーブは割合に柔らかい結合状態で、種々様々に、形と状態が変化している。つまり、輪郭は不鮮明、形はほぼ一定。(2) 速度は、ゆら、ゆら、揺れる程度。またはピョン、ピョンと飛び跳ねる。(3) 三次元的な動きをする。回転もあり、また分離と結合がある。(4) 撮影者の意念の働きによって呼び込まれ、変化する様子。(5) フラッシュ光無しでも撮影出来る。(6) 色は乳白色から赤色まで様々に変化する。つまり、近赤外線から可視光まで変化する。しかも(7) 場所と時間をきめた時、ほぼ同一オーブが出現する。つまり再現性がある。

### 3. 内部模様のカオス解析 ——（省略）

の心理的条件(ASCに近づける)を揃えると写るようになる。良く撮れる場所とは、寺院仏閣(祈りの場)ならびにパワースポット等で、何回も普通(通常、既知)のオーブが撮れる(オーブが存在している)場所をいう。ただし、これには個人差がある。

## 2. 撮影、実験結果

撮影実験は、2014年8月6日(水)～2015年2月7日(土)。オーブ出現が未知の場所(有名でない)であると判断される長野県伊那市、静岡県磐田市、その他。晴れ、夜、に実施された。デジカメ撮影者はSDK師、彼女は特異能力保持者であり、変性意識状態(ASC)に近い状態で実験している様子に見えた。動画撮影の実験は8回以上おこなわれており、全部が成功している。本稿では、それらの中の二例について報告する。

### 2-1) オーブの動的変化挙動像

撮影は2014年11月23日(日)、晴れ、夜、場所は静岡県磐田市内。カメラを通常の広角にして遠くにある星(白点またはオーブ)を探しだし、望遠モニター上に写し出す。意念を集中して、「星(オーブ)よ、キテーー」と念ずると、突然に、ピョンと芽(初生)オーブが飛び込んでくる。そして、近づいたり遠ざかったりする。上下左右に動く。またキラ、キラ瞬いている(微動)そして回転する。様々に乱舞する。オーブの光群の結合は、わりあい弱い感じである。これを見やすい状態まで拡大する(液晶モニター上、倍率大)。

オーブが液晶モニター上に写り込み、成長した後、ズームを固定して、オーブの動的な変化挙動をデジカメで観察、撮影する。同時に別置きの手回しカメラで、これらの全体像を記録する、この場合の撮影時間は、18分38秒であった。なお、これらのオーブの動画は、手回しカメラにより、フラッシュ光無しで撮影されている。写真1(オーブ撮影像)は、手回しカメラが写し出したデジカメの液晶モニターを含む全体像の一例である。



写真1 (orb撮影)

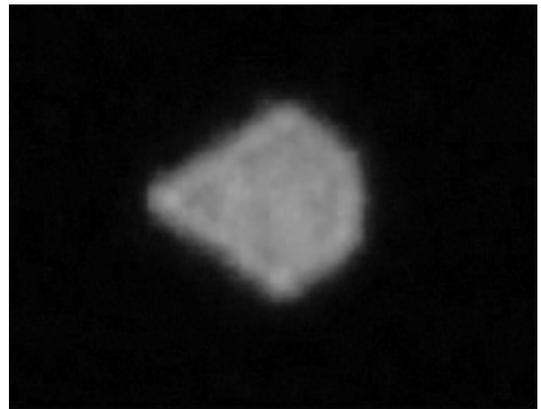


写真2 (菱形2)

次に動画をコピーして得られるオーブ像の写真を示す。写真2(菱形2)、写真3(省略)、写真4(省略)は、動画オーブ像の「切り取り像写真」である。全体として、十の字の各尖端を結んだ形の四角形の菱形オーブが写されている。写真2は、その菱形の右がわの一部が円弧に置き換わったもの。写真3は、横方向の尖端が丸められた形。写真4は、ほぼ完全な菱形、である。このように、動画として得られたものは全部が菱形像である。この菱形は、撮影場所に関係のある特異現象であるといえる(場所としての再現性あり)。また大きさもほぼ同一である(再現性あり)。

### 2-2) オーブの成長過程動画像

予備実験ならびに前報(PSIJ、2015年7・8月号)によれば、オーブは次第に成長しながら此方に



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## オーブ(たまゆら)形成過程の動的な観察

佐藤 禎花 佐々木 茂美 苗 鉄軍

日本の「たまゆら」は万葉集の時代から知られており、死人の霊や魂などが写り込まれている写真像であると言われてきた。しかし時間が経過して、近世の「心霊写真」の中には、幼稚なトリック写真であると見破られるものもあった。「オーブ」はデジタル・カメラで撮影した写真(CCD)像の中のノイズとして出現してきたので、「オーブ」もそれらの一種であると言う人達がいる。

たとえば多くのカメラマンは、オーブや心霊写真は、レンズフレヤ(ハレーション)や、またはガラス、水滴、埃等に対するフラッシュ光からの反射である場合が多いと言う。残念ではあるが、一般にはそのように考えられている。しかし実際に検討してみると、意識と体外の巨視物質(オーブ)との間で情報交換している(マクロPK)現象の一種であると考えられるので、重要な研究対象であるといえよう。今回は、オーブとそれが形成される過程を動的に観察し、体外にある巨視的なオーブ(たまゆら)像と意識の間の情報交換(相互作用)を知るための基礎的な検討をおこなう。

### 1. 実験方法

使用したデジタル・カメラは市販のカシオ EX-ZR700BK、カシオ EX-Z330ならびにハンディ・カメラ、ソニー HDR-CX270、パナソニック HC-V210Mである。望遠ズームを用いて、カメラの焦点距離を遠くに合わせて(倍率は液晶モニター上で設定)写すことにした。しかし、このようにすればカメラの視野が狭くなるので、オーブ

を探しだすのが難しくなる。そこで、予めデジカメを用いて広角で(焦点距離、短)液晶モニター上に小光球(白点状の星、又はオーブ)を写し出し、つぎに望遠ズームで拡大して(焦点距離、長)見やすくしてから観察し、同時にこれの動的な変化を別置きのハンディ(ビデオ)カメラで撮影して「オーブの動画」を写すことにした。なお、今回は、カメラを「手持ち」で写す方式をもちいた。

別報によれば、オーブは近赤外線域に存在しており(活性化エネルギー、1.4eV)非可視なので、液晶モニター上でのみ可視となる。つまり、はじめに、デジカメの液晶モニターを用いて微小オーブを探し出し、つぎにこれを拡大して観察する(測定する)事にした。この理由として、デジカメのシャッターを半押しにすると、カメラからは近赤外線が放射されるので、その視野内にオーブが来れば(写り込めれば)、液晶モニターに映ることになる。つぎに、これを拡大して、撮影し記録する。この時、場合によっては、肉眼で見える(近赤外線から可視光にまで拡大する)事もあった。このような方法でオーブの動画を記録する。同時に、適時にデジカメを全押しでシャッターを切り、オーブの切り取り静止像を撮影・記録する。

撮影場所については、オーブが写り難い場所と、良く撮れる場所がある。しかし、なかなか撮れない(オーブが居ない)場所でも、天候条件等の物理的ならびに、無心で熱心に撮影するなど